



第6回仙台国際音楽コンクール

Vol. 6-4

ヴァイオリン部門：2016.5.21（土）～6.5（日）

（2016.5.26 発行 第6回コンクール関連 第4号）

ピアノ部門：2016.6.11（土）～6.26（日）

本選インタビュー特集

コンクール出場者に聞いてみました!! ヴァイオリン部門編

- ①このコンクールを受けようと思ったきっかけは何ですか？
- ②音楽以外に興味があることは何ですか？
- ③仙台の印象はいかがですか？

15 ダニール・コーガンさん カナダ/ロシア 1993年生



① オーケストラとともにアンサンブルをどう作り上げていくか、合計3ステージも体験できることは貴重なことです。ソリストにとって特別なコンクールだと思いました。

② 音楽家にとって興味は全て音楽につながるべきものと思います。文学、美術、科学など全てが演奏の役に立つのです。

③ 漢字やカタカナがわからないので、怖くてまだ仙台駅周辺しか歩いていません。日本は文化だけでなく、生活も伝統を大切にしている、素晴らしい国だと思います。

31 タン・ヤピンさん 中国 1990年生

① 有名なコンクールであることと、ずっと日本に行ってみたくていたので。日本への興味の理由は、「NARUTO」など日本のアニメが好きで、いろいろと見ていたからです。

② 絵を描くことと、読書です。本は様々なものを読みますが、日本の作家では東野圭吾がお気に入りです。

③ とても美しい街で、出会う人も素敵な人たちです。また、今の時期は気候も良くて素晴らしいですね。



17 黒川 侑さん 日本 1990年生

① 多くの人に自分の音楽を聴いていただくことが大切だと思い、応募しました。上位に入ることができれば、更に大きな機会を得ることができずし、最近のコンクールは配信も盛んですからね。



② クラシック以外の音楽もよく聴きます。母親がロックのファンで、キングクリムゾンなどのレコードが家に沢山あって、その影響でロックを聴くようになりました。他にジャズもよく聴きます。また最近ではアメリカの作家の小説を良く読みます。

③ 失礼がなければ良いのですが、すごく都会でびっくりしました。美味しいものがたくさんあって一昨日は寿司を、昨日は牛タンを食べました。とても美味しかったです。とても良い街で、私は大好きになりました。

36 モモ・ウォンさん 日本/アメリカ 1994年生

① 先生の勧めがあったことと、同じ門下に前回優勝者のリチャード・リンさんがいたことです。コンクール後も多くの演奏機会があることなど、自分のキャリアにとって良いコンクールだと考えました。



② 音楽以外には、美術やイラスト、映画が好きで、特に映画撮影に興味があります。

③ 温かい雰囲気がある街だと思います。これまでで行ったことのあるのは東京が家族の住む京都近郊だけで、東北には初めて来たのですが、故郷のように感じました。

6 藤江 扶紀さん 日本 1990年生

① もう25歳で、そろそろコンクール人生を終わらせたいな（笑）と感じていた時、このコンクールの内容を知って、他のコンクールとの違いに興味を持ち、受けてみたいと思い自分で決めました。

② 興味がいろいろありすぎて、答えられません。今はフランスにいますので、近隣の国に旅行に行きます。美術館で絵画を鑑賞したり、山に行ったり。人のいないところへ現実逃避するのも好きです。

③ 仙台は初めてです。街の人達がすごく優しい。店員さん達もすごく親切。本当に温かい街ですね。予選の出場が3日目で時間があったので、牛タンやお寿司も、もう食べました。



13 スティーヴン・キムさん アメリカ 1995 年生



① このコンクールは規模も大きく、皆様と音楽を分かち合う良い機会だと思いました。日本に来るのも初めてで、私にとってこれがキャリアの一つになれば嬉しいです。

② リラックスしたい時も主にクラシック音楽を聴いています(笑)。

あと、家族や友人とでかけるのも大切な時間です。

③ とても美しい街ですね。こんな大きな音楽イベントを行っているのは素晴らしいと思います。来仙してから、そばやカレーはもう食べてみました。他のものも試してみたいです。

9 ジャン・ユジンさん 韓国 1990 年生



① 課題曲がユニークで、私には全ての曲が初めてだったからです。全てのラウンドでオーケストラと共演できることが本当に楽しみでなりません。

② アメリカで博士課程に在学しているので、全ての時間を音楽の勉強に費やしています。読書も全て音楽に関するだけです(笑)。

③ 日本が好きで何度も来ていますが、北の方に来るのは初めてです。仙台は街もきれいで、人も食べ物も素晴らしい。是非また来たいです。

10 メルエルト・カルメノワさん カザフスタン 1993 年生

① 今回は私にとって、初めての大きなコンクールです。とても難しい課題曲ですが、私には新しい体験になると思い、受けることにしました。



② 勉強の合間には読書やウォーキングをします。違う分野の音楽を聴くのも好きです。主にジャズを聴きます。

③ 私は小さな町に住んでいるので、仙台はとても大きく思えます。素晴らしい街で、すぐに気に入りました。

3 ニキータ・アクロフさん ロシア 1990 年生



① 私が今教わっている米元響子先生に勧められました。予備審査に通る自信はありませんでしたが、先生の励ましと早い時点からの予備審査準備への協力のおかげで、この美しい国に来ることができて、嬉しいです。

② あまり自由な時間はありませんが、料理は好きで、いろいろ作ります。いろいろな国に行くので、その材料や料理に挑戦することが楽しみです。

③ 旅行の時はいつも事前に Google でチェックしますが、実際に来ると仙台駅周辺は予想以上に美しい自然に囲まれ、美味しい食べ物がありますね。寿司と刺身はもう食べました。

29 ユリエ・スヴィエツェナーさん チェコ 1994 年生

① 新しいレパートリーに挑戦したかったからです。課題曲がモーツァルトとバルトーク、メンデルスゾーンとショスタコヴィチなど対照的な要素があるところに興味を持ちました。



② 読書と映画鑑賞と料理です。最近読んだ本はトルストイの「アンナ・カレーニナ」で、すでに4~5回読んでいますが、読むたびに新しい発見があります。他には「ハリリー・ポッター」やアガサ・クリスティの作品も好きです。

③ 日本食が好きなおもありますが、人も食事も素晴らしく、パラダイスにいるようです！過去の出場した友人から仙台は素晴らしいところだと聞いていましたが、本当にそうでした。

32 ガブリエル・チャリクさん フランス 1989 年生

① 課題曲が協奏曲に特化しているのが興味深かったです。ショスタコヴィチの2番を勉強するのに良い機会でした。また、シューマンの第1楽章はよく弾きますが、その全てを勉強する良い機会でもありました。日本には友人がいますが、実際に来るのは初めてで、何かを発見することも楽しみです。



② 音楽だけ(笑)。大学で学んだ哲学も好きだし、文学も好きです。テニスやゴルフ、自然散策もやります。

③ 今はコンクールに集中しているので、まだ駅と会場の往復だけです。でも昨日、隣の公園でランニングしました。山の匂いがして良かった。また歩きたいです。

23 岡本 誠司さん 日本 1994 年生

① 日本国内にも国際音楽コンクールは少なく、中でも仙台は最高峰という印象でした。審査委員の先生も、これまでの入賞者も素晴らしい方たちです。このタイミングで受けてみたいと思い、自分で決めました。

② 音楽に集中する時は集中し、忘れる時は忘れるようにしています。リラックスするにはまず散歩ですかね。音楽に向き合っている濃い時間が長いので、それ以外は音を入れずにボーっとしています(笑)。

③ 仙台に来るのは3回目位でしょうか。でもこうしてゆっくり滞在するのは初めてです。仙台出身の友人から美味しいものの情報を得たので、是非2週間滞在していろいろ楽しみたいです。



発行：第6回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ： 仙台市市民文化事業団コンクール推進課（仙台国際音楽コンクール事務局）

TEL: 022-727-1872 / e-mail: info@simc.jp URL: <http://www.simc.jp/>